

市町村名	大宜味村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ 文化の担い手の育成		
担当部課名	企画観光課	事業実施 年度	令和 1 ~ 令和 2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	国指定重要無形文化財である喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作し、やんばるの森ビジターセンター(道の駅おおぎみ)に展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施し、喜如嘉の芭蕉布の魅力発信する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度			合計	
	A. 予算現額	4,664	17,397			22,061	
	B. 執行済額	4,660	17,397			22,057	
	うち 交付金充当額	3,728	13,917			17,645	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	R2年度の減額については、入札残によるものである						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備	目標	展示用着物 2着制作	・展示ケース購 入 ・パネル製作 ・展示ケース内 物品購入			
		実績	展示用着物 2着制作	・展示ケース購 入 ・パネル製作 ・展示ケース内 物品購入			
着付け体験用着物制作	目標		体験用着物 5着制作				
	実績		体験用着物 5着制作				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備	目標	展示用着物 2着制作	・展示ケース購 入 ・パネル製作 ・展示ケース内 物品購入			
	実績	展示用着物 2着制作	・展示ケース購 入 ・パネル製作 ・展示ケース内 物品購入				

	着付け体験用着物制作	目 標	体験用着物 5着制作				
		実 績	体験用着物 5着制作				

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	喜如嘉の芭蕉布及びその伝統技術について、興味・関心をもてたか(80%以上)を含め、施設来場者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。		目 標	80%以上				
			実 績	99.0%				
			目 標					
		実 績						
状況説明		【R3年度】 ・芭蕉布イベントの際に、来場者に対してアンケートを実施した。興味・関心をもてた数値が当初目標としていた80%を超える99%得られ、目標値を達成することができた。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・喜如嘉の芭蕉布を展示したことにより、やんばるの森ビジターセンター(道の駅おおぎみ)の来場者数も増加し、多くの方に喜如嘉の芭蕉布をPRすることが出来ている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				【R3年度】 ・コロナの影響により、人との接触が多い着付け体験については年間を通して実施することが出来ない状況であったが、感染対策を十分に行い、年間を通して着付け体験等を実施し、引き続き喜如嘉の芭蕉布をPRしていく必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R3年度】 ・展示物の定期的な交換や着付け体験を実施するための管理・運用を委託し、感染対策を十分に行いながら年間を通して着付け体験等を実施出来るよう取り組んでいく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名	大宜味村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	ふるさと河川環境再生・活用整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-(イ) 陸域・水辺環境の保全		
担当部課名	建設環境課	事業実施 年度	平成 26	~ 令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるむらづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に大川川とその周辺整備を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	83,439	146,630	99,151	184,013	513,233	
	B. 執行済額	83,439	103,485	98,835	184,013	469,772	
	うち 交付金充当額					0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	70.6%	99.7%	100.0%	91.5%	
執行状況の説明	予定していた整備箇所の護岸整備工事を年度内に完了することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	護岸整備工事の実施 L=200m	目標	工事の実施	L=350m	L=200m	L=200m	
		実績	工事の実施	L=239m	L=189m	L=180m	
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	累計河川工事整備率 71% (1,838m/全体延長2,600m)	目標	工事整備	工事整備率 56%	工事整備率 64%	工事整備率 72%	
		実績	工事整備	工事整備率 59%	工事整備率 63%	工事整備率 71%	
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の取り組み	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
累計河川工事整備率 71% (1,838m/全体延長2,600m)	目標	工事整備	工事整備率 56%	工事整備率 64%	工事整備率 72%	
	実績	工事整備	工事整備率 59%	工事整備率 63%	工事整備率 71%	
	目標					
	実績					

状況説明	【平成30年度】 ・護岸整備工事の実施 L=239m (工事整備率 59%)
	【令和元年度】 ・護岸整備工事の実施 L=189m (工事整備率 63%)
	【令和2和年度】 ・護岸整備工事の実施 L=180m (工事整備率 71%)

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
一部供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 ①本来であれば河川周辺に訪れた観光客数を設定すべきだが、把握することが困難であるので、代替として、河川周辺のオクラレルカ(菖蒲)の畑への開花時期(3月下旬~4月中旬の約2週間)における花見客数を設定した。 数値については、直近(H29)の実績より300人増を見込み、6,500人と設定しているが、令和3年事業が繰越の為事業効果は確認できていない。 ②河川周辺で環境学習として行っている野鳥観察会への参加者数を設定した。数値については、過去3ヶ年の実績の最高値より、約150人増を見込み500人と設定しているが、令和3年事業が繰越の為事業効果は確認できていない。	早期供用開始を実現する為、事業箇所用地の相続に係る相続人の割出しや、分筆に伴う隣接地主の割出しについては、追跡調査や地域住民への聞き取り等を強化する事で計画的な事業遂行に向け取り組む。また、電柱等の移設については、関係機関との調整を早期に行い事業執行に支障が出ないように対策する。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

(累計河川工事整備率)
 ・引き続き、観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川の整備を実施する。